

唐泉山を仰ぎみて



嬉野市立塩田中学校だより 学校教育目標:心豊かにともに伸びる

令和4年5月10日
嬉野市立塩田中学校
第3号
文責校長池田正昭

PTA新役員紹介

令和4年度のPTA役員の方々が決定しましたのでお知らせします。会長は、古賀智寛様に務めていただきます。新役員の皆様方には何かとご負担をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。なお、行事計画等については、コロナ渦の状況により中止や変更等があると思っておりますがご了承ください。PTA総会の紙上承認等にご協力いただき有り難うございました。

<令和4年度PTA本部役員の皆様> ※敬称は略させていただきます。

役職	氏名	役職	氏名
会長	古賀智寛	副会長	志田泰崇、前川幸子、池田正昭(本校職員)
広報部長	中島春好	広報副部長	山田しのぶ
生活環境部長	平野道徳	生活環境副部長	一ノ瀬幸治
母親部長	峰松美由紀	母親副部長	大塚ゆかり、山口真喜子
事務局	森 昭彦(幹事:本校職員)、草場直樹(会計:本校職員)		

体育大会スローガン決定!

勇猛果敢～一人一人が虹のように輝き、勝利の道を駆け抜ける～



体育大会(5月22日(日)予定)のスローガンが、勇猛果敢に決定しました。今回は、赤・青・黄ブロックによる三つどもえの闘いとなり、これまで以上の盛り上がり期待されます。全員が虹の輝き放って勝利を目指し、勇猛果敢に闘う戦う光景を楽しみにしています。各ブロックの団長やリーダー等を以下に紹介します。

※敬称は略させていただきます。

青ブロック	氏名	赤ブロック	氏名	黄ブロック	氏名
ブロック長	山口 翼	ブロック長	相良 銀河	ブロック長	田崎左利宇
副ブロック長	辻 孝太郎	副ブロック長	糸山 心乃	副ブロック長	山口 倫弥
応援団長	前田 心優	応援団長	山口 柊	応援団長	原口和佳奈
応援副団長	一番合戦皇雅	応援副団長	前川 想汰	応援副団長	山口 悠来
応援	池田 翔真, 田浦 菜々子	応援	田中 竣, 永吉 萌々花	応援	森 共生, 緒方 宗太郎
リ	古賀 一志, 山口 莉緒	リ	佛坂 海斗, 末光 優里	リ	緒方 夏陽, 山本 陸駟
ダ	吉野 輝斗, 淵野 隼大	ダ	辻 莉玖磨, 石橋 美羽	ダ	久佛 銀河, 井手 彩乃
ダ	藤永 倅輝, 松元 優	ダ	織田 航希, 宮崎 乃彩	ダ	佐藤 悠樹, 井手 穂華
ダ	溝口 遥仁, 田中 乃々巴	ダ	西野 凧, 宮崎 優那	ダ	澤田 夢奏, 井上 希
ダ	井手 嘉音, 山口 康太	ダ	松尾 莉奈, 小寺 夏未	ダ	中島 麗奈, 藤山 広太郎
パネルリーダー	杉光 結花	パネルリーダー	志田 悠真	パネルリーダー	永石 弘栄
パネル副リーダー	嶋田 翔子	パネル副リーダー	栗山 凌瑛	パネル副リーダー	杉光 美咲
衣装リーダー	原田 優香	衣装リーダー	福田 香蓮	衣装リーダー	仲尾 奏音
衣装副リーダー	石瀧 奈々	衣装副リーダー	兵働 心緒	衣装副リーダー	一ノ瀬 美輝

(各ブロックのクラス割)

青・・・3年1組,2年1組,1年2組 赤・・・3年2組,2年2組,1年1組 黄・・・3年3組,2年3組,1年3組

心と体のアンケートについて

第2号でお知らせしたとおり、本校教育の重点項目の一つに「不登校対策の拡充」があります。この課題については、早期発見が肝要ですが、これまでのような、「顔色がすぐれないな」といった教師の直感に頼った対応には限界があると考えました。そこで、子どもたちの内面を数値で示し可視化する新しい試みとして、「心と体のアンケート」を実施しています。1回目は、4月22日(金)に実施しました。項目は15項目で、各設問に、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の4択でタブレットにより回答します。回答ごとに、4点～1点でカウントし、合計点数が高いほど高ストレス(支援の必要な生徒)、ということで、教育相談の時間を使って悩みを聞いたり、必要な場合はスクールカウンセラーに繋げたりといった対応をとっていきます。質問項目は以下のとおりです。

<質問項目>

- 1 よく寝れない。
- 2 朝、起きるのが以前よりつらくなった。
- 3 体がだるく疲れやすい。
- 4 食欲がない。
- 5 気分が落ち込んだり、やる気がなくなったりする。
- 6 イライラしたり、かっとなったりする。
- 7 不安になったり、緊張したりする。
- 8 学校に行きたくない時がある。
- 9 学習意欲がわからない。
- 10 集団生活が苦手。
- 11 友達づきあいは疲れる。
- 12 友人の視線や自分がどう思われているかなどが気になる。
- 13 家での時間を楽しめない。
- 14 将来に希望が持てない。
- 15 自分のことが好きになれない。

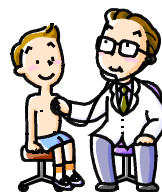
5月6日の佐賀新聞の記事には、中学生の13%が中等度以上のうつ症状が見られたとの報道がなされています。このデータを本校に当てはめると、35人(1クラス分程度)の子どもたちが該当することになり、客観的なデータに基づく対応が不可欠であると考えています。結果の活用法については、さらに工夫を図っていきたいと考えています。お子さんの様子で気になることがあれば遠慮無く担任等へご連絡ください。

イメージ図

体の状態・・・数値化:体温・血圧・血糖値など



早めの病院受診



体の状態・・・「心と体のアンケート」で数値化



早めの対応

スクールカウンセラー等による教育相談



